

神高SSH通信2018

科学オリンピックに参加しよう！

対象は高校生以下ですが、高校理科の範囲にとらわれない高度な思考力・応用力を試す闘いです。最終選考に残れば世界大会に行けます。物理、生物、化学の分野があります。去年は神戸高校から合計113名が出場し、優秀な成績を収めた人もいます。普通科、総合理学科、学年を問わず参加できます。生物オリンピックと化学グランプリは無料で参加でき、物理チャレンジには参加費の補助があります。この他に、地学オリンピックが12月、数学オリンピックは1月にありますが、これは後日案内します。

日本生物学オリンピック 2018

予選

- ・理論問題 90分
- ・7月15日(日) 13:30~15:00
- ・甲南大学(岡本キャンパス)で実施
- ※40名以上の参加 → 神戸高校で実施
- ・上位約80名を選出 → 本選へ

・申し込み

学校でまとめて申し込みます。

校内締切 5月18日(金) 総合理学部まで

本選

- ・実験問題(国際大会の模試)
- ・8月16日(木)~19日(日)
3泊4日 東京大学で実施
- ・最先端研究に触れる機会や、仲間との交流も
- ・金賞10名 銀賞10名 銅賞20名
- ・成績優秀者15名 → 代表選抜試験(国際大会と同等レベルの問題)を経て、日本代表4名選出

昨年度、神戸高校から

○**優秀賞1名** ○**優良賞8名** が出ました。

物理チャレンジ 2018

第1チャレンジ

- ・理論問題コンテスト(マークシート方式)および実験課題レポート(6/15締め切り)
- ・7月8日(日) **神戸高校**で実施
- ・100名を選抜 → 第2チャレンジへ

・申し込み

学校でまとめて申し込みます。

校内締切 5月18日(金)

総合理学部まで

第2チャレンジ

- ・理論問題および実験問題(3泊4日の合宿形式)
- ・8月19日(日)~22日(水)
東京都で実施
- ・サイエンスツアーや物理研究者によるデモ実験と講話もあります。
- ・金賞6名 銀賞12名 銅賞12名 優良賞20名
- ・最終選考により数名を「国際物理オリンピック」日本代表に選出

化学グランプリ 2018

一次選考

- ・マークシート式試験 150分
- ・7月16日(月・祝) 13時~16時
- ・神戸大学工学部で実施
- ・80名程度を選出→二次選考へ



二次選考

- ・実験問題と考察レポート 240分
- ・8月17日(金)~18日(土) 1泊2日 筑波大学にて実施
- ・講演会やエクスカージョンも
- ・大賞5名 金賞15名 銀賞20名 銅賞40名
- ・20名程度が国際化学オリンピック代表候補に。

・申し込み

学校でまとめて申込みます。

校内締切 5月31日(木)

総合理学部まで

昨年度、神戸高校から

上位 5%以上の成績 1名

上位20%以上の成績 8名 が出ました。

科学オリンピックに、奮って参加を！

過去の先輩たちの実績を紹介します！

一昨年度、神戸高校から、日本生物学オリンピックの本選に3名の生徒が出場を果たしました。茨城県のつくば市で行われた本選において、出場した3名のうち1名が、全国銅賞を獲得することができました。また、化学グランプリにおいても本選出場者が1名出ました。名古屋大学で行われた本選で、日ごろの学習の成果を発揮し、生物学オリンピックと同様に、全国銅賞を獲得するに至りました。

増え続ける神戸高校からの大会参加者！

昨年度の神戸高校からの科学オリンピック参加者は合計113名で、一昨年度の91名から22名の増加でした。数年前は総合理学科生徒が占めていた参加者も、普通科からの参加者の割合が年々増加しています。また、参加者の学年も、数年前は3年生中心でしたが、年々1、2年生の参加者が増えています。

こういった科学系オリンピックでは、基礎的な知識をベースとしながらも、主に科学的な思考力を問うような出題になっています。1年生、2年生にも本選出場のチャンスが十分にあります。特に、1年生、2年生は、たとえ今年に結果が出なかったとしても、次の年へつながる経験となることでしょう。これらの科学オリンピックは、神戸高校の1年生から3年生まで、全校生が参加できる素晴らしい機会です。また、国際科学オリンピックに出場すると、受験できたり、合格するのに有利になる大学入試もあります。奮って参加しましょう。

上記イベントに関する質問があれば、総合理学部職員室まで来てください。

締め切りの日を確認して、貴重な機会を逃さないようにしましょう。